

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 2024年 1月 26日

事業所名：創伸館 放課後デイ 名神

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の意見	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	整理整頓をし、利用者に不便がないように心がけている。	はい：17 どちらとも： いいえ： わからない：1		活動スペースを維持しながら、安全面にも維持していきたい。
	2	職員の適切な配置	常勤4名、児童指導員1名体制で運営している。	はい：14 どちらとも： いいえ： わからない：4		Instagram等を通し、普段の関わりを発信している。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	一目でわかるように、靴を脱ぐ場所で色を変える。お知らせは、大きなホワイトボードや通信などをを用いて対応している。	はい：16 どちらとも： いいえ： わからない：2		貼紙をし、低学年の子にもわかるようにしている。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	日々の清掃・整理整頓 コロナ禍での消毒	はい：17 どちらとも： いいえ： わからない：1		子どもたちも日々の清掃に参加し、物を大切にできるように心がけるように伝えている。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	普段からの利用者についての情報交換・伝達を行い、支援者が情報を共有するように心がけている。	はい： どちらとも： いいえ： わからない：		時間を決めて情報交換していなかったため、時間・項目を決めてミーティングをする。個々の仕事分担を明確化した。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施していない。	はい： どちらとも： いいえ： わからない：		現在、予定していない。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	職員同士での勉強会や、外部・内部研修を行い資質の向上を図っている。	はい： どちらとも： いいえ： わからない：		コロナが終息すれば、より外部研修にも参加する予定である。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	普段の利用者の様子を踏まえ、利用者とのアセスメントを行い、個別支援計画を作成している。	はい：18 どちらとも： いいえ： わからない：		今後も情勢を見ながらモニタリングを実施していく。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	それぞれの利用時間を考えながら、どの子どもも意欲的に参加できるように心掛けて、できるだけ集団支援に力を入れている。	はい： どちらとも： いいえ： わからない：		その都度その子に合ったアドバイスを心掛けていたが、上手くいったものや計画通りいかなかったものをスタッフで共有しながら次回以降につなげていく。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	週間単位でバランスよく支援ができるように設定している。	はい：18 どちらとも： いいえ： わからない：		支援計画に基づき、天候・人数・時間を考え、その日その時に最適な支援とスタッフで確認しながら支援をしていきたい。
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	急な欠席以外は、ほぼ計画通り支援を実施している。	はい：17 どちらとも： いいえ： わからない：1		利用者の様子は常に気にしているので、計画・予定は変更する場合があるが、個別支援計画から外れないように気を付けている。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	どのプログラムも事前に確認し、新しいプログラムをするときは、一度スタッフで実践してみても協議する。	はい： どちらとも： いいえ： わからない：		新しいスタッフも増えてきているので、新しいイベントも多く取り入れている。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	事前に計画を立てているので、その時にしかできないことをするようにしている。	はい： どちらとも： いいえ： わからない：		イベントだけでなく、日々の支援もレポーターを増やしたい。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	固定した方がよいものもあるが、できるだけ、曜日を変える、回数を変える等気を付けている。	はい： どちらとも： いいえ： わからない：		今後も継続して行っていき、各スタッフがスキルアップしていきたい。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	集団支援を主に役割分担を確認している。	はい：14 どちらとも： いいえ： わからない：4		必要・不要の業務を仕分けしたい。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後、短時間であるが、問題点、良かった点、気になった点の情報共有をしている。	はい： どちらとも： いいえ： わからない：		当日、翌日、支援日の共有する内容の確認を行う。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	その日にうちに細かな記録をしている。改善点等はその日のうちから話し合っている。	はい： どちらとも： いいえ： わからない：		今後も継続して細かな記録や改善点等の話し合いを行っていく。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	日々の様子から、最終の1か月をかけて、次の個別支援計画を作成している。	はい： どちらとも： いいえ： わからない：		普段の会話を大切に、支援計画・支援につなげていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の意見	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	相談支援事業者からの呼びかけで、ケース会議に参加している。	はい： どちらとも： いいえ： わからない：		今後もケース会議にはできる限り参加する。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		はい： どちらとも： いいえ： わからない：		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		はい： どちらとも： いいえ： わからない：		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	学校へ訪問したり、担任が当施設に来たりしながら情報共有をしている。	はい： どちらとも： いいえ： わからない：		今後も学校をはじめ関係機関との連携を進めていきたい。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	学校との連携は常に行っているが、当施設から申し渡すことはまだケースがない。	はい： どちらとも： いいえ： わからない：		保護者について、学校に当施設での様子を伝えに行くことがあった。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	コロナ禍のため、参加はしていない。	はい： どちらとも： いいえ： わからない：		必要と感じた研修については積極的に参加する。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	併設している放課後児童クラブとイベントを通して活動交流している。	はい：11 どちらとも：1 いいえ： わからない：5		今後ももう少し回数・機会を増やしたい。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に関わられた事業の運営	コロナ禍のため、参加はしていない。	はい： どちらとも： いいえ： わからない：		世情を見ながら参加するようにしたい。
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	毎回の説明はしていない。 初回の契約時に説明後、変更のある時に説明。	はい：17 どちらとも：1 いいえ： わからない：		変更時、面談時に、説明をする。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	大幅な変更がある時、普段から利用者の様子を写真をメールしている。	はい：17 どちらとも： いいえ：1 わからない：		変更時、面談時に、説明をする。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	前回から全く進んでいない。対応を聞かれると答えているが、支援者からの発信はできていない。	はい：6 どちらとも：2 いいえ：1 わからない：9	・行われている所(事務所)はあるのでしょうか？	年2回の面談、普段の連絡から必要と感じた場合は、書籍などを使用し伝えるようにする。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	気が付いたことがあり、保護者への連絡が必要と判断したときに報告している。	はい：15 どちらとも：1 いいえ： わからない：2		利用者の様子に気を付けて観察し、何かあれば必要に応じて連絡・報告する。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	その都度行っている。	はい：14 どちらとも： いいえ： わからない：4	・まだ日が浅くて相談していない	任せていただいていることに責任を感じ、日々利用者として接しているため、お互いに成長を願い、意見交換している。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母会は実施していない。	はい：2 どちらとも： いいえ：5 わからない：10		父母会は予定していない、各家庭別に懇談会を実施。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情に限らず、問題があったと判断したときには速やかに連絡し、面談の場を設定する。	はい：12 どちらとも：1 いいえ： わからない：4		普段の連絡にLINEを使い、素早く対応できるようにしている。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	日々の連絡は、メール・電話・面談の順で必要に応じて情報伝達している。	はい：15 どちらとも：1 いいえ： わからない：2		対応はできるだけ速やかにしていきたい。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月月末にその月の出来事や、翌月の目標等を通信としてお知らせしている。	はい：18 どちらとも： いいえ： わからない：		普段の様子をリアルタイムでお知らせするために、Instagram、グーグルマイビジネス等SNS発信をしている。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	鍵のついた書庫で管理している。	はい：17 どちらとも： いいえ： わからない：1		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の意見	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	簡素化したものを重要事項説明書に載せている。 職員間では、毎月実施している。	はい：13 どちらとも：2 いいえ： わからない：3		チャートマニュアルを作成した。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	スタッフミーティングの際に確認している。 長期休暇の時間に余裕がある時に実施予定。	はい：9 どちらとも：1 いいえ： わからない：8		防災マップ・災害時の連絡系統・コロナ対応などを目に入る場所に貼っている。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	普段から施設の方針の確認はしている。	はい： どちらとも： いいえ： わからない：		新規スタッフ面談時にも確認する。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	契約時必ず説明をしている。 現在まで該当者はいない。	はい： どちらとも： いいえ： わからない：		契約時、面談時に確認する。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	利用開始時にアレルギーの報告をもらっている。	はい： どちらとも： いいえ： わからない：		アレルギー一覧を作成する。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	二度繰り返さないように、報告書の作成をしている。 今年、該当0件	はい： どちらとも： いいえ： わからない：		今後もヒヤリハット0件を目標にしている。
満足度	1	子どもは通所を楽しみにしているか	イベントを多く企画し、曜日をずらして、みんなが参加できるように考えている。	はい：17 どちらとも：1 いいえ： わからない：		利用者の満足度を一番に考えている。
	2	事業所の支援に満足しているか	イベント後は、スタッフ間で次回のための振り返りをしている。	はい：17 どちらとも：1 いいえ： わからない：		クレーム0件を目標にしている。

・デイの先生方の丁寧な対応のおかげで利用開始当時に比べると、勉強面も生活面も落ち着いてきました。親子共々感謝しています。今後ともよろしくお願いします。

・行くことをいつも楽しみにしています。無気力だった1学期に比べて心が回復し、意欲が出てきました。安心できて居心地の良い場所ができてよかったです。

・息子にとって大大好きな場所で毎日楽しみにしていて喜んで通っています。小学校に通えなくなった時、相談員や行政は4月多忙で連絡がつかない中、藤井先生は学校に様子を見に行ってくれました。唯一現場に駆けつけてくれたのは創伸館の先生だけです。何か気になることがある場合もすぐ連絡をくれて解決します。息子にとっても私にとっても恩義を感じるあたたかい場所です。息子にとって学校に通うカテになる大切な居場所です。今まで何か所か通ってききましたが、ここまで息子が大好きになり毎回楽しみにしている事務所は初めてです。私達親子にとって、本当に有難い場所です。いつもありがとうございます。

・アンケートが遅くなりすいません。いつもお世話になっております。これからも宜しくお願い致します。